

# 就労移行支援事業

## ふれあい児童館でのバザー



いらっしゃいませ〜♪

どれにしようかな〜



↓看板 嬉しい〜♪



今年もふれあい児童館の先生から声を掛けて頂き、11月10日(水)に自主生産品を販売させていただきました。コロナ過ということで、2年前のような地域の方との交流(施設周りの草取り等)はできませんでしたが、児童館に来場された方に商品を見て頂き、たくさん購入して頂きました。就労移行支援の訓練生が販売体験をしたので、接客を学ぶ良い機会となりました。

ありがとうございました

## 座学:「周りを明るくする表現上手になろう」

座学の時間に笑顔で挨拶の練習をしました。↓↓みんなの練習風景です。

『もっと口角あげて〜』と練習中

こんな感じ〜?  
『にい〜(^^)/』



普段から仲の良い3人。向かい合っただけの練習は緊張したようですが、真剣に、そして楽しく練習していました。周りを明るく出来る人になれるといいですね!

## 就労移行支援スタッフの今年の目標

**望** 希望を持って  
過ごす 井端

**楽** 楽しく過ごす  
小谷

**明** 明るく過ごす  
田畑

**笑** 笑顔で過ごす  
宇野

希望を持って楽しく明るく笑顔で一年頑張ります!



# 就労継続支援 B 型事業



~あじさい会を開催しました!~

10月:作業所内でレクをしました。

駄菓子釣り、手作りトランプで神経衰弱、ポーリングをしました。久々のレクリエーションにリフレッシュできました!



11月:下呂方面へ紅葉狩りに行きました。

少人数に分かれて紅葉狩りに行きました。下呂温泉街ではコロナ感染対策をとりながら、美しい紅葉を見ながら足湯に浸かり、秋を満喫できました!



## 自主製品を販売しました! ~福祉のお店・ほっこりウォーキング~

11月・12月は、高山市役所、ほっこりウォーキング、飛騨総合庁舎、下呂総合庁舎、高山日赤病院など、様々な場所で自主製品を販売させていただきました。今後も多くの方々に手に取っていただける製品を作っていきたいと思っております!



高山市役所  
~福祉のお店~



江名子校区まちづくり協議会  
~ほっこりウォーキング~

### ◆◆◆お礼のコーナー◆◆◆

~たくさんの方から寄付をしていただきました。~  
国際ソロプチミスト高山様、高山田城ライオンズクラブ様、平野農園様、中島農園様から寄付をいただきました。法人の活動に活用させていただきます。大変にありがとうございました。今後とも、どうか末永いお力添えを頂きますよう宜しくお願いいたします。

◎タオル (順不同): 野村様、植木様、青葉の会、利用者の方の保護者引き続き、不要なタオルや布等があれば、お譲り頂けるとありがたいです。ご協力の程よろしくお願ひします。



高山田城ライオンズクラブ



平野農園様



## 新成人の祝い



今年は、4名のメンバーが成人を迎えられました。  
ご成人おめでとうございます  
コロナ禍の混乱が続く中、それぞれが大きな目標  
に向かって、自分に誠実に一歩ずつ前進していく  
姿がみられるのを楽しみにしています。



## 郷に入れば郷に従う

柏木 真司



別府での生活も慣れてきたある日、先輩カウンセラーと二人で障がい者を雇用しているとある会社を訪問しました。応接間に通された私たちは、そこで働いている障がい者の様子を社長に伺おうと質問する内容を頭で確認していたところ、社長の奥様が登場し、おもむろに私たちが座る前のテーブルに色とりどりのつけものを並べ始めました。(訪問した会社は、漬物屋さんではありません)

一体どういうことなのか理解できないままじっと待っていると、その奥様が「さあ、召し上がれ」と言うのです。さすがに即「いただきます」とは言えず、「ああっ、いや・・・」と曖昧に答えると、いきなり奥様は、私の左手をつかみ手のひらを広げ、箸でつまんだ赤いつけものをのせました。そして「さあ、どうぞ」と言うと次は隣の先輩の手もつかんでいました。私たちは言われるがままその左手を口元に運ぶことしかできませんでした。大分県のとある地域では、このように来客には自家製のつけものをふるまい、もてなす習慣があります。「郷に入れば郷に従う」これが全国各地を異動しなくてはならない職業カウンセラーの定めです。

カウンセリングの基本はラポールの形成であると新人研修で学びました。障がい者のみならず会社とのラポール形成も大切です。如何にして自分が会社の方から信頼していただくか。それは会社の社風や社長さんの服装、話し方、趣味、社員さんの働く様子、社員同士の言葉使いなどなど、いろいろな事項から会社をアセスメントし、自分をできるだけその会社の色に合わせしていく。こうして私は様々な会社の社員を演じられるようになりました。  
(第3回終)

# 青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所  
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559  
<https://www.welcom-aozora.com/>  
令和4年 1月 7日発行 第51号



新年のご挨拶



理事長 柏木 真司

新年あけましておめでとうございます。旧年中は青空作業所の活動に対し、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年もご利用者がより豊かな人生を歩めるよう職員一同、精一杯取り組んで参ります。何卒、宜しくお願い申し上げます。

新年を迎えたものの日々の活動においては未だ何かと制限が多くあります。今後はこの状況がスタンダードとなることを踏まえて、以前と比べてマイナス面ばかりに目を向けるのではなく、この制限下において出来ることは何かについて前向きに検討していくことが必要であると思います。

さて、障害者総合支援法につきましては、施行後3年の見直しに向け議論が進められています。その中で注目されるのはグループホームのあり方についてです。昨今、民間によるグループホーム事業への参入が増えています。青空作業所のご利用者の中にもグループホームから通所されている方がみえます。時にグループホームでの生活に対して不満を漏らす方がいますが、この背景には支援体制や経営の問題など、グループホームが抱える運営の難しさがあります。

今検討されているのは、利用者の希望により従来型のグループホームと新たなグループホームを選択できる仕組みにしてはどうかといったことです。新たなグループホームとは、サービス管理責任者が、利用者の希望を踏まえて一人暮らしに向けた支援計画を作成し、居宅生活への移行のための支援(家事、金銭管理、住居の確保など)を行い、さらにグループホーム退所後の居宅生活定着のための支援も行っていくというものです。新たなグループホームが創設されることで利用者のニーズに幅広く対応できるようになることから実現されることを強く望みます。

さらに今後はパートナーと一緒に利用を希望されるケースや LGBT に対する配慮も必要になってくると思います。多様なニーズに応えられるグループホームが地域に増えることにより障がいのある方の生活の質が向上していくことを期待しています。